

チュートリアル課題 頭が痛い山本さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29021

2007年度 Block. 5

課題 No. 3

「頭が痛い山本さん」



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください

藤 純一郎 (感染症科)

シート1

6月の上旬、39歳男性の山本さんは3日前から咽頭の痛み、鼻閉感があり、会社近くの診療所を受診しました。風邪と診断され、セフェム系の抗生物質を処方されました。

[提示資料] なし

[抽出が期待される事項]

抗生物質の種類、作用機序、選択基準
市中感染
風邪症候群

シート2

次第に山本さんには頭痛と吐き気も出てきました。前回の診療所を再度受診したところ血液検査、鼻咽頭の培養検査を施行され、マクロライド系の抗生物質を処方されました。しかし山本さんの症状は良くなりません。山本さんは診療所に電話をしました。

医師：「前回の血液検査で白血球数が19000 / μ l と高く、炎症のマーカ―、CRP も24.0 mg/dl と高値です。紹介状をお書きします。」

紹介状をもらい、大学病院受診の予約を取ろうとしていたら、頭痛と吐き気が激しくなってきました。家族が救急車を呼び、近くの救急病院に運び込まれました。山本さんは3年前に特発性血小板減少性紫斑病になり、脾臓を摘出されていました。

[提示資料] なし

[抽出が期待される事項]

頭痛、吐き気を起こす疾患の鑑別診断
脾臓の感染防御におけるはたらき

シート3

救急病院に着き、救命救急科の医師が診察したところ、山本さんの意識は朦朧としており、脈拍 130/分、血圧 120/80mmHg、体温 40.3 °C で、項部硬直を認めました。

[提示資料] なし

[抽出が期待される事項]
髄膜炎の診断と起因微生物

シート4

頭部 CT では異常は認められませんでした。主治医は腰椎穿刺を施行しました。髄液は混濁しており、グラム染色で写真のような菌が認められました。併せて血液培養も行われ、セフトキシム 1 g 1 日 2 回点滴静注が山本さんに投与されました。

[提示資料]

資料1：混濁した髄液の外観とグラム染色でグラム陽性球菌が観察されることから、肺炎球菌による髄膜炎が想定されます。

資料2：救急病院での検査所見。髄液中の細胞数増加（好中球優位）、蛋白上昇、糖の低下より細菌性髄膜炎が疑われます。

[抽出が期待される事項]

グラム染色

髄膜炎の確定診断

髄液検査の意義

肺炎球菌の引き起こす感染症とその治療

血液培養

シート 5

山本さんの熱は下がりません。主治医は感染症科にコンサルテーションを行いました。髄液と血液から血清型 23F の肺炎球菌が検出されました。主治医は最小発育阻止濃度 (MIC) の結果から抗生物質をパニペネム 1 g 1 日 4 回に変更するよう指示されました。その後、解熱し、炎症所見も正常化しました。

その後、主治医は山本さんに、今回の肺炎球菌について説明を行いました。主治医役と患者役に分かれて、ロールプレイをしてみましょう。

[提示資料]

資料 3 : 肺炎球菌に対する感受性試験成績。最小発育阻止濃度 (MIC) の値から、ペニシリン耐性肺炎球菌であることがわかります。

資料 4 : 主治医の山本さんへの説明文書。チューターの判断で必要に応じて渡してください。

[抽出が期待される事項]

肺炎球菌の薬剤耐性機構

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の治療

肺炎球菌の血清型

最小発育阻止濃度 (MIC) と抗生物質選択

カルバペネム系抗生物質の適用

ペニシリン耐性肺炎球菌の蔓延状況

シート6

主治医：山本さんは脾臓を取っていますので、肺炎球菌に対する抵抗力が落ちています。今後、肺炎球菌に感染しないようワクチンを打ちましょう。

山本さん：前の病院ではそのような説明はなかったのですが。

主治医：日本ではまだ、ワクチンに対する認識が十分ではありませんし、毛嫌いする方も少なくありませんが、山本さんには肺炎球菌ワクチンが必須です。

山本さんは主治医の説明に納得して肺炎球菌ワクチン接種を受けました。山本さんはその後肺炎球菌感染症にかかることなく、今も元気に仕事を続けています。また、診療所に風邪症状でかかって抗生物質を処方されると、必ず医師に説明を求めるようになりました。

[提出資料]

資料5：肺炎球菌ワクチンのインフォームドコンセント例。学生の討論の状況を見て渡してください。

[抽出が期待される事項]

肺炎球菌感染症の予防

肺炎球菌ワクチンの種類、適応、血清型との関係

ワクチンの問題点、副作用

インフォームド・コンセント